

リセで使用される用語一覧表

AEFE: Agence pour l'Enseignement Français à l'Etranger

フランス海外教育庁

外務・ヨーロッパ問題省の監督のもとに設置された公的機関。

AF-fcpe: Association des Familles du Lycée Français International de Tokyo

AF:東京国際フランス学園、家族の会

生徒の保護者会。fcpe に加盟し、政治色を持たない、全員に開かれている。

-fcpe: (Fédération des Conseils de Parents d'Elèves) 生徒の父母会議連盟。フランスにおける主な父母会のひとつ

AI: Aide Individualisée (primaire, collège et seconde)

個別指導（初等部、中等部及び高等部最初の学年）

初等部・中等部で学習に困難が生じた場合に、一部の生徒は2時間の補習を受けられる（中等部では、フランス語1時間、数学1時間）。教師はAIを一時的に受講するべき生徒を決定する。

高等部最初の学年では、補習は全生徒に義務的に行われる。

AP: Accompagnement Personnalisé (lycée)

課外活動（高等部）

Demi-classe（クラスをさらにグループに分けた小クラス）では、進路指導、勉強・整理方法、ノートのとり方、指導（モチベーション促進）、及び自己の認識（どのような分野を好むか？）について生徒に指導補助する。

ASEM: Agent Spécialisé des Ecoles Maternelles (maternelle)（幼稚園）

この機関は乳幼児の衛生を指導する補助職員を担当し、それに伴って子どもたちの休憩、及び遊戯のために使われる場所、及び教材の衛生状態を整える。

ASSR: Attestation Scolaire de Sécurité Routière (collège)

生徒のための交通安全証明書（中等部）

安全性への関心を高めるプログラム。ASSR1 試験を5^e 学年時に、ASSR2 を3^e 学年時に受験する。

AVS: Auxiliaire de Vie Scolaire

障害のある生徒のための学校生活補助員

障害のある生徒が、ひとりではできない行為を行えるように職員が介入すること。職員は自立性向上を奨励するように留意しながら、教師と協力して仕事を行い、障害のある生徒とクラスメート間の交流を促す。

BCD: Bibliothèque Centre de Documentation (primaire)

図書室（初等部）

初等部の生徒は、本の借り入れ、読書、及び閲覧のため週 1 回（平均 45 分）、及び本の展示会のため数回、来室する。ここではコンピュータ 2 台を設置している。これはデータベースを参照し、BCDI のデータベースから資料を探すためのものである。幼稚園部のクラスは、テーマにあったディスクや本の読み聞かせのため来室する。

Bento ou Lunch Box

弁当、またはランチボックス

外部から持ち込みの食事（《bento》や《externe》の規定で申し込んだ生徒に限られる）。

CDI: Centre de Documentation et d'Information (secondaire)

資料・情報センター（中・高等部）

ここでは本以外の定期刊行物、雑誌、及びコンピュータ等がある。場所の空き具合によって、生徒は小グループで勉強できる。

Collège（中等部）

6^e～3^e 学年全部。

Conseils de Classe (secondaire)

学級委員会（中・高等部）

(Source: décret n°2005-1145 du 9 septembre 2005, art. 22, *Journal Officiel de la République Française*, 11 septembre 2005)

- ・ 学校長、又はその代理人の統率で、Conseils de Classe 開催のためクラス毎にクラス担任教員、生徒の保護者代表 2 名、生徒代表 2 名、生活指導専門員が招集される。
- ・ Conseils de Classe は少なくとも 1 年 3 回開催され、学校生活において教育的に興味深い問題、特に生徒の個人的勉学方法について検証する。同時に、勉学、及び勉学の選択においてよりよい指導をするために、生徒の就学経過を検証する。
- ・ Conseils de Classe は各生徒の就学を追跡し状況を明確にする。

CPE: Conseiller Principal d'Education (secondaire)

生活指導専門員（中・高等部）

中・高等部生徒の監督（欠席、風紀、犯罪防止対策）を担当する職員。

CR: Compte rendu

会議録

様々な評議会、及び委員会の議論やプレゼンテーションを報告する。

DP: Demi-pensionnaire

学食で昼食をとる生徒。

Elémentaire

初等部

CP～CM2 学年の全部。

Externe (lycée) (高等部)

昼食をとるために学食へ行くか、又は外出可能な生徒。

Primaire (ou Premier Degré) (初等部)

幼稚園の年少 (PS) ～初等部の最終学年 (CM2) の学年全部。

Secondaire (ou Second Degré) (中・高等部)

中等部 (6^e～3^e) 及び高等部 (seconde～terminale) の学年全部。

DNB: Diplôme National du Brevet (collège)

中学卒業能力試験 (中等部)

3^e 学年の成績、及び 3^e 終了時に受験した筆記試験を合わせた義務試験。

EMILE: Enseignement d'une Matière par l'Intégration d'une Langue Etrangère

他言語で科目教授するという意味の略語

この新プログラムは、旧 DNL(Discipline Non Linguistique)に相当する。プログラムの一部は、フランス語と外国語の二言語で概念を獲得することを目的として、二言語で交互に教授する。

FLE: Français Langue Etrangère

フランス語をまったく、又はほとんど習得していない生徒を対象とした学科。

FSE: Foyer Socio-Educatif (secondaire)

(中・高等部)

Foyer Socio-Educatif は生徒によって設置された活動を援助する非営利団体である。活動のための参加は無料である。

JLE: Japonais Langue Etrangère (collège) (中等部)

日本語が外国語である生徒を対象にした日本語コース。

JLM: Japonais Langue Maternelle

日本語が母国語である、又はほぼ同レベルである生徒を対象にした日本語コース。

Journée de Pré-rentree: 教員の新学期開始日

Journée banalisée: 教員が学校計画を検討するために集合する日。幼稚園・初・中・高等部の生徒は授業がない。

Journée vaquée: 幼稚園・初等部の生徒は授業がない日。中・高等部の生徒のみに授業がある。

LFIT: Lycée Français International de Tokyo 東京国際フランス学園

Langues au primaire

- ・日本語を中心とした進路
- ・英語を中心とした進路
- ・二言語平衡の進路＋選択で EMILE の日本語
- ・二言語平衡の進路＋選択で EMILE の英語

Langues au secondaire 中・高等部における外国語教育

- ・LV1: Langue vivante 1 として英語選択。

6^e～最終学年の生徒全員に義務。

- ・LV1bis: Langue vivante 1 bis として日本語

6^e～最終学年の生徒（日本語を母国語とする子どものみ）に選択。

- ・LV2: Langue vivante 2 としてスペイン語、又はドイツ語。

4^e～最終学年の生徒全員に義務。

- ・JLE: Japonais Langue étrangère

6^e～3^e 学年の生徒に選択。

- ・JLV 2 bis: Japonais Langue vivante 2 （高等部）

2^{de}～最終学年の生徒（上級レベル）に選択。

- ・JLV 3: Japonais Langue vivante 3 （高等部）

2^{de}～最終学年の生徒（初級～中級レベル）に選択。

EURO: 4^e～最終学年の生徒を対象にした **section européenne**（歴史・地理を英語で学習）。

（6^e 学年からのこのコースを開始する計画がある）。

OIB: Option Internationale du Baccalauréat

現在のところ、この選択は日本語についてのみ可能である。AF は、近いうちに英語にも可能性が開かれることを期待している。

PAI: Projet d'Accueil Individualisé

これは特別な状況（報告済みの疾病、慢性的な疾病、読字障害等）への対応を要請する生徒に適応する。学校内で生徒の特別な要請に対する責任を明確にし、施設の関係者との意思疎通を確実にすることが目的である。

PAI は、障害や疾病を有する生徒を受け入れるために、保護者、学校施設職員（施設長、学校医、医療職員、補助員、カウンセラー、教職員、すなわち教員、生活指導専門員など）、及び外部協力者の間で文書で書かれたプロトコールである。

PEC: Prise En Charge (lycée)（高等部）

2012 年度開始時に廃止された高等部授業料無償のシステム。

Permanence (secondaire)自習室（中・高等部）

時間割で空き時間がある場合、自主的に勉強するための自習室。そこでは、学校生活補助員に指導される。

生徒は教員欠勤の場合も自習室を利用する。

Pronote (secondaire)（中・高等部）

生徒及び保護者がサイト上で宿題及び評価を確認できるソフトウェア。

Vie scolaire (secondaire)

生活指導（中・高等部）

中・高等部において監督、規律、出欠の管理をする部門。**CPE***（生活指導専門員）の権限により設置される。

REPP: Rencontre Equipe Pédagogique-Parents (secondaire)（中・高等部）

学年開始時の会議。そこでは教員が保護者に自己紹介し、保護者代表が任命される。

RIPP: Rencontre Individuelle Parents-Professeurs (secondaire)（中・高等部）

保護者が、こども達の学業について相談するために、個別に各教員と面談できる会議。

Trombinoscope

LFIT 全員の顔写真入り紹介。

リセにおける決定機関

Conseil d'Administration ou CA

LFIT を運営する最高機関。その名の下、管轄内での改善すべき問題、特に財政面の問題に決定を下す。

Conseil d'Ecole (primaire et maternelle)

初等部を運営するための決定機関であり、教育や生活指導の分野における改善点について **conseil d'Etablissement** に意見を述べる。

Conseil d'Etablissement ou CE

初等部と中・高等部を代表する決定機関。**Conseil d'Ecole** と **Conseil du Second Degré** の会議の際に、そこで取り上げられた、及び提案された問題に取り組む。

施設の教育や教育における生活に関する全てについて権限があるが、AEFE や **Conseil d'Administration** が権限を持つ分野では、それらの代わりはできない。

Conseil du Second Degré ou CSD (collège et lycée)

2006 年 6 月 23 日の AEFE の通達において、初等部における **Conseil d'Ecole** の《対になるもの》として **Conseil du Second Degré** を創設した。

ーこれは、独占的に教育と生活指導との問題を諮問する役割を持つ。

生徒の用語

Colle : (罰としての) 居残り

DM : 家で行う宿題

DP : 学食を取る学生

DS : テスト

ECJS : 市民を育てるための教育 (法律、社会など)

EPS : 体育授業

JAPD : 18 歳の時点で国防について学ぶ日

Perm : 自習室

PP : クラス担任教員

SES : 経済、社会

SPE : 数学、物理・化学、生物学の中からひとつ選択する専門 (**terminale S** において)

SPH : 物理学

SVT : 生物学

TP : 化学の実験

TPE : 監督官のもとで行う小グループの自由研究 (1^e 学年)

Enseignements d'exploration ("Explo") en 2^{de} : 2^{de} 学年で選択コースを決める前の暫定コース

PFEG : 経済とビジネスの基礎を知るコース

MPS : 理系分野での方法と実践を試すコース

LS : 文学と社会一般を知るコース